

## 第3回 江東未来会議

### (第2分科会：産業・生活分野)

#### 次 第

日時：平成19年11月7日(水) 午後7時00分～9時00分

場所：江東区文化センター2階 旧区政PRコーナー

- 1 開会
- 2 事務局からの連絡事項
- 3 ワークショップ
  - (1) 第2分科会で主に取り組むテーマの確認と選定（グループ分け）
  - (2) テーマごとの課題の整理
  - (3) 課題解決に向けた方向性の検討（基本的な方向性や施策等のアイデア出し）
- 4 その他
- 5 閉会

(配付資料)

- 第1回江東未来会議 議事概要（修正版）
- 第2回江東未来会議 議事概要
- 第2分科会の検討対象とするテーマ設定の考え方について
- 第3回ワークショップ進行表
- 第2分科会スケジュール（予定）
- 第4回会議日程調整シート

**江東未来会議**  
**第2分科会（産業・生活分野）**  
**第1回 議事概要**

日時：平成19年9月26日（水）20:05～20:45

場所：江東区教育センター1階大研修室

参加人数：29人

**1. 自己紹介**

ーコーディネーターの深田氏より、本日の議論の進め方について説明がなされた後、参加者の氏名、お住まいの地域、関心分野等について自己紹介を行った。

**【討 議】**

○参加者

・コミュニティと生涯教育に興味がある。

○参加者

・自分に何ができるかという視点を大切にしたい。

○参加者

・男女共同参画、消費生活に関心がある。

○参加者

・臨海副都心を比べたとき、港区の方が人気は高く、企業立地も進んでいる。江東区もビッグな区になってほしい。

○参加者

・山登りやバードウォッチングに関心があり、江東区の自然を大切にしたい。グローバル企業に在籍していた折り、コミュニティや人間関係に苦労した経験がある。

○参加者

・江東区は高齢者が多いと思っていたが、大規模マンションの開発が進み、若い世代が増えている。高齢者と若い世代と一緒に住むことができるコミュニティが楽しいまちになっていけるよう主体的に関わっていききたい。

○参加者

・旅行が好きで観光に関心がある。江東区の観光名所などを開拓していきたい。

○参加者

・区内のコンピューター会社に勤務している在勤者である。シーサイドマラソンにもずっと参加しており、江東区と非常に親しい関係にあるので参加した。

○参加者

- ・散歩ができる水際都市であることと、鬼平犯科帳に関心があり、終の棲家に江東区東陽町を選んだ。マンションの老朽化と住民の高齢化の問題に取り組んでいる。

○参加者

- ・豊洲は発展しているが人のつながりが希薄な面がある。江東区の下町の人情あふれる良い面を、これから発展していくまちも含めて江東区全体に広めていければよい。

○参加者

- ・中国語を勉強しており、海外との交流や観光などの面で意見を言っていきたい。

○参加者

- ・最近、江東区に移り住んで終の棲家にしていきたいと考えている。新しいマンションにおけるコミュニティづくりに取り組んでいる。まち全体が、新たな開発と潤いの両者のバランスのとれた発展ができるとよい。

○参加者

- ・子育てサークルの活動をしている。江東区には10年住んでいるが、まだ住みやすいと言えない。住みやすいまちづくりを進めていきたい。

○参加者

- ・1970年から江東区に住み続けており、終の棲家となるだろう。観光エンターテイメントをつくりたい。

○参加者

- ・近年、人口は増加しているが、地元の企業や産業まで恩恵が至っていない。若い世代が増えてまちが変わりつつある中で、潜在力のある区内産業がまち全体の発展と調和をとりながら発展していく方向性について考えていきたい。

○参加者

- ・生涯健康スポーツ支援を掲げ、コミュニティのクラブハウスとして壮年のたまり場づくりに取り組んでいる。これまで仕事の関係上、区外との関係が強かったが、まちづくりコーディネーターの資格も持っているので、いろいろと提案していきたい。

○参加者

- ・文化財を通して、これからの江東区を考えてみたい。

○参加者

- ・いろいろなテーマに興味があるが、特に産業に注目している。区内の中小企業がより活性化すれば、江東区全体が発展する。区内産業の潜在力を活かせるような提案をしていきたい。

○参加者

- ・区内在住の在勤者でもある。江東区には住み始めて4年目である。周囲の開発は進んでいるが、まだ文化的な生活にはもの足りなさを感じている。住みやすく働きやすい地域

づくりに貢献していきたい。

○参加者

・江東区に住んで2年目である。江東区は緑と水が多く気に入っている。江東区の役に立てればと思い参加した。

○参加者

・都立木場公園でプレイパークをつくる活動を行っている。プレイパークは冒険遊び場だが、子どもだけでなく多様な世代が関わることで、新しいコミュニティ形成の可能性を持っている。さまざまな世代の方と議論していきたい。

○参加者

・江東区に60年住んでいる。新しい住民も増えており、また、区外の方も多く江東区に来ている。多くの方に愛着心を持ってもらえる江東区の姿について考えていきたい。

○参加者

・自転車エコライフ、屋上菜園など、環境ボランティア活動を行っている。江東区が観光立国として食っていくために何かしたいと考え参加した。

○参加者

・商店街の理事長をしている。区内には約50の商店街があるが、10の大型店舗が区全体の売上高の7割を占めている。商店街の衰退を踏まえ、地域とともにある商店街を基本構想に反映していきたい。

○参加者

・民生委員を10年以上やっているが、ひきこもりの老人に関する情報などが個人情報保護のため公開できなくなり矛盾を感じている。地域のまち歩きや史跡巡りなどいくつかの提案を持っているので参加した。

○参加者

・江東区を自転車でまわると、東西南北面白いエリアが多くあるので、もっとアピールできると面白いまちになる。

○参加者

・時間的な余裕ができたこともあり参加した。さまざまな意見を聞いて勉強していきたい。

○参加者

・江東区では、隣接しているのに生徒数などに差がある中学校がみられるので、何とかしたいと思い参加した。生涯学習の面でお役に立てると考えている。

○参加者

・江東区の歴史・文化・町並みに関心があるが、豊洲、東雲、有明のまちづくりをみると、ほとんど地域の歴史や文化に関係なく進められている。歴史や文化に根付くまちづくりをどのように進めていけばよいのか考えていきたい。

## 2. その他

ー第2・4・5回の日程調整を行い、開催候補日を以下の通り決定した。

### <次回以降のスケジュール調整結果>

第2回 第1候補：10月17日（水）19:00～21:00

第3回 第1候補：11月7日（水）19:00～21:00、第2候補：11月5日（月）

第5回 第1候補：12月19日（水）19:00～21:00、第2候補：12月12日（水）

※後日、いずれも第一候補の日程で会議を開催することに決定。

(以上)

**江東未来会議**  
**第2分科会（産業・生活分野）**  
**第2回 議事概要**

日時：平成19年10月17日（水）19:00～21:20

場所：江東区文化センター2階 旧区政PRコーナー

参加人数：23人

1. 開会

2. 事務局からの連絡事項

3. 配布資料の概要について

○事務局

資料「基本構想の位置づけについて～基本構想とは？～」について説明

4. ワークショップ

○深田コーディネーター

資料「本日の進め方に関する資料（第2回ワークショップ進行表・グループ完成イメージ・記入例）」について説明

（1）江東区のイメージ～江東区を紹介しよう～

①グループ別作業・討議

着席テーブルで任意に分けられた3つのグループごとに、「江東区のイメージ～江東区を紹介しよう～」という課題に対して、個々人が持っている江東区の特徴・イメージを、「お勧めポイント・まちの自慢」「困っていること・こうなったらいいな」「その他こぼれ話・私の体験談」に分けて付箋紙に記入した。

その後、付箋紙に記入した内容を模造紙に貼り付けながら議論を行い、江東区のイメージを表す4～5つのキーワードを抽出し、模造紙に記入した。

【作業結果】詳細は別紙（「第2回江東未来会議 産業・生活分野」課題シート1 グループ討議結果）参照

## ②発表

※「」内は合意したキーワード

### ○Aグループ

- ・困っている点として、「南北の交通が分断されている」という意見が多く出た。また、人口急増に関連して「治安が悪化している」。例えば、交番が少ない、歩道の自転車に不安を感じているなどの意見があり、人口急増に対応した安全なまちづくりが必要である。さらに、保育園の不足や、地域ごとのコミュニティの分断、増加するお店に関する情報が行き渡っていないなどの意見もみられた。
- ・お勧めのところとしては、水辺の都市なので「水彩都市」として、運河、河川などに魅力を感じている人が大半であった。また、江戸の歴史を感じる門前仲町などのまちとともに、豊洲などの臨海部も人気のエリアとして挙げられた。「過去と未来が共存した街」には、良い面と悪い面があり、江戸しぐさなどを通じてまちの良さを伝えていくとともに、バランスのとれた街づくりが必要だということで合意した。
- ・その他の点として、マンションの増加に伴う地価や家賃の上昇、1人暮らしの方が増加し、話し相手が求められているという意見も出された。

### ○Bグループ

- ・良いところとして、一番目に合意されたキーワードは、「水彩都市」である。二番目にお祭り、深川、人情味、なごみなどの「下町情緒」、三番目に「都心に近い」ために便利である点が挙げられた。
- ・困っている点としては、「多いマンション少ない緑」である。マンションが多く建設されている地域では、まだ緑が少ない。
- ・「水彩都市」と「下町情緒」という2つの特徴を合体させて、江東区といえば〇〇と言えるような、「全国レベルの企画イベント施設（区民参加型）」も必要である。
- ・また、江東区には勢い・潜在力があり、ビッグな区のイメージを発信していければよい。

### ○Cグループ

- ・「新旧（街・人）共存」ということで、お祭りや名所旧跡、神社仏閣が多い下町の良さとお台場近くの未来都市という新都市が共存している点が挙げられた。また、面積、人口ともに増え、「広がり」がみられる一方で、南北方向の交通が不便という意見がみられた。
- ・「水と緑」が豊富で、散歩、サイクリング、まち歩きに適している。
- ・「コミュニケーション」に関して、下町と新興都市があり、新旧の交わりが少ないという意見がみられた。
- ・最後に、イメージもあるが犯罪が多く、「治安」が心配という意見が出た。

## (2) 江東区のイメージ～江東区を紹介しよう～

### ①グループ別作業・討議

(1) の討議結果を踏まえ、同じグループ構成で、「10年後の江東区を描く～10年後に紹介したい江東区とは?～」という課題に対して、10年後のあってほしい江東区の姿を付箋紙に記入した。

その後、付箋紙に記入した内容を模造紙に貼り付けながら議論を行い、10年後のあってほしい江東区の姿として合意した4～5つのキーワードを抽出し、模造紙に記入した。

【作業結果】詳細は別紙(「第2回江東未来会議 産業・生活分野」課題シート2 グループ討議結果)参照

### ②発表

※「」内は合意したキーワード

#### ○Aグループ

- ・「歴史と未来都市のバランスが良い」まちとして発展していくため、まちのアイデンティティを区民が共有し、お互いのまちの良いところを紹介し合えるとよい。また、緑や花、水彩都市などの従来からの良い面を残していきたい。
- ・「オリンピックの中心地」として栄え、「南北交通が便利」になっている。
- ・「治安が良く安らぐ街」「安心、安全な街」として、子育てがしやすく、高齢者が充実している。また、台場地区は、低層の高齢者が住めるインフラと住宅が広がる地域というイメージも出された。

#### ○Bグループ

- ・現在の良い面を伸ばし、「水と緑がいっぱい」のまちにする。
- ・世界中の人々が江東区に遊びに来ることができ、下町情緒と近未来都市、風情や人情、住民同士の心がつながっているイメージを「世界に誇れる下町情緒の街」にする。また、住民、地域に垣根がなく、地域的な交通のつながり、新旧住民の連携があるという意味で、「地域の連携、調和」を挙げている。
- ・水がきれいであってほしいとともに、自動車交通量の多い地域では大気汚染や車の騒音がみられるので「公害の無い安心な街」を挙げている。
- ・学職住が近接するまちということで、「学、職、住、公共サービス大接近」を挙げている。

#### ○Cグループ

- ・シニア世代、若い世代、子どもが様々なコミュニティに参加している明るいまちづくりが重要である。人口、面積が増えている中で、「豊かな人のつながり」が大切である。
- ・防災、防犯の面で、東京で一番「安心、安全な街並み」と言われるようにしたい。
- ・「東洋(京)のベニス」と言われるような景観を活かしたまちづくりが重要である。並行して、「下町の伝統の継承、創造」が必要である。



## 5. 今後の進め方について

### ○深田コーディネーター

資料「第2分科会スケジュールの概要」について説明

- ・暫定的な第2分科会のスケジュールをお示している。本日は、分科会としては実質的に初回であることから、江東区全体の将来的なイメージや現状を分野にとらわれずに議論していただいた。
- ・次回は、本日描いた将来像を実現するために、産業と生活の分野に絞り、分科会として取り組むテーマの柱となるものについて議論していただきたい。第4回には施設見学会も予定されており、スケジュールは大変厳しい。第5回目以降は、柱ごとにグループを固定し議論を進めたい。これら今後の進め方全般についてご意見をいただきたい。

### ○参加者

- ・本日のグループ分けは暫定か。
- ・複数の将来像を持っている人は、途中からグループを変えてよいのか。

### ○深田コーディネーター

- ・本日のグループ分けは暫定である。
- ・途中からグループを変えると、議論が繰り返されることに懸念があるが、ご意見があれば、グループメンバーの組み換えも可能である。グループのテーマ数は3～5つの予定である。

### ○参加者

- ・事務局が、本日の議論の成果の中から、産業・生活分野に関連のある内容を抽出し、テーマを設定したうえで議論をしないと、本日の議論が次回につながらない。
- ・本日の各グループの発表内容には、それほど差異がない。総論としての将来像は共有できているので、テーマ設定は可能である。
- ・事前にメールやファックスなどで参加者の意見を集約し、把握した方がテーマを設定しやすいのではないか。

### ○深田コーディネーター

- ・事務局側で、本日、各グループで合意したキーワード、キーワードになり得るポストイットの内容に加え、これからメール、ファックスでいただいた内容を整理して次回提示したい。

### ○参加者

- ・第2分科会に求められている分野の枠をきちんと設定した方がよい。特に、第2分科会、第4分科会は類似したテーマがあるので、各分科会の議論結果も踏まえ再整理しておく必要がある。
- ・次回は、産業や生活、コミュニティに関連して、本日議論が少なかった内容を重点的に議論してはどうか。

- ・分科会の分野分けを事務局からきちんと切り分けて提示してもらわないと、いつまでも経っても論点を絞り込むことができない。
- ・事務局には、参加者がそれぞれの動機と、きちんとした基本構想をつくりたいという思いを持って参加していることを認識してもらいたい。各論の議論をすべきである。また、お茶を出さない事務局の感性を理解できない。
- ・産業、生活、コミュニティの分野に関心が高い人が集まっているので、事務局には最終的な成果に向けてうまくコーディネートしてもらいたい。
- ・基本構想と計画、施策がどのようにつながっているのか、事務局から情報提供してもらった方が、効率的に議論が進むのではないか。

○深田コーディネーター

- ・本日の検討成果とともに、検討成果から抽出した第2分科会として取り組むべき産業と生活分野に関連するキーワードを開催通知とともにお送りさせていただく。次回は、その抽出したキーワードをもとに議論を煮詰めていただきたい。

○参加者

- ・電子メールのある人には、電子メールで送ってほしい。

○事務局

- ・事務局の方で、メールアドレスを把握している参加者には、メールでお送りさせていただく。

(以上)

Aグループ

毎日公園でかたまってお昼からお酒を飲んでいる方がいる  
トイレもそこでしている  
犬も放し飼いです

過去と現在の文化が共存している町

歩道を歩くのに危険を感じる  
(自転車・自己主張をする看板類)

奈良時代から近未来までを感じさせる地域だ!

総合病院・高齢者センター等福祉が増えている

南北の交通利便性が人口増の割に悪い

新しい人が入ってきているが昔からの物や人も大切にしたい。

南部地域(潮見・辰巳・東雲地域)の安全に不安がある。交番が少ない。

豊洲運河付近やららぽーとなど水辺エリア

(0メートルより高い土地もあるよ)荒川河口にお富士さんを造りたい  
本当の富士山が見えるお富士さん  
一大観光施設にする

東陽町～錦糸町の交通不便

地下鉄で多くの人が通過し地上街に上ってこない。

地域ごとにコミュニティが分断されている。

江戸時代がすぐその辺に生きている

森下、門前仲町など風情ある街(商店街)

河川・運河が多く、水辺が楽しい

区内の南北?の交通が不便  
例:豊洲→森下

江東区を持っている情報・サービス機能を把握し、活用する体制の整備。

とかく目的的に対象を絞りがちであるが、できれば目的を複合的、複眼的に処理する方向に進める。

江戸時代における名所・旧跡が数多く、浮世絵等になっている。

江戸文化の香りがする。

江東区の人が誇りをもてる伝統を知り、それを江東区以外の人にも強く関心をもってもらおう。

保育園などが少ない。

舟と緑

砂町銀座等下町生活密着ショッピング街がある

一人暮らしの方が増加  
話し合える人を求めている

一人暮らしの方が増加

もっとお店や観光をアピールしてほしい。

現在の都市への人口集中を代表するのが江東区で、ここ数年は平均で1万人/年増である。

ヴィーナスフォート付近(お台場周辺)

新しいマンション  
建設ラッシュ!!  
街が変化

江東区側の荒川河川敷には水飲み場がない  
人がたくさん来てもらえる  
春秋は草花が咲き乱れ  
夏は花火、冬もあったかいよ  
ジョギングコースも整ってるよ

明治以降近代産業を先導する地域であった。

江東区は河川の文化船と川の歴史と文化財の宝庫である事

マンションが急増し、地価が上がっている。

縦横に運河が走る水の都江東区(これからそうする)  
観光遊覧船、水辺のプロムナードなど

町は生きているという事を子供たちに実感させたい。(江戸しぐさ)

深川八郎右衛門埋め立ての歴史から始めたい。

「水彩都市」でもベネチアではなくオランダ・ベルギーのような街運河が楽しい

学ぶ・歩く・味わうの素材が多くあると思います

お勧めポイント・まちの自慢

困っていること・こうなったらいいな

その他こぼれ話・私の体験談

合意したキーワード(3~5)		理由
①	南北の交通が分断されている。	
②	過去と未来が共存した街	歴史のある街(下町風)新しい街(未来都市風)が混在している。 城東、深川、臨海エリアのバランスのとれた街づくり
③	水彩都市(河川・運河など)	
④	治安が悪化している(一部)	交番少ない 歩道危ない 公園で酒を飲む人
⑤		
残しておきたい意見		

課題シート1 江東区のイメージ～江東区を紹介しよう～

第2回産業・生活分科会  
グループ討議結果

**Bグループ**  
(秋の七草グループ)

水彩都市	深川、門前仲町界限 下町情緒	ビッグな区 (千代田、中央、港) の一手前の区だ	ゴミ戦争の区	人口が増えている
水運、水、海があり 便利、なごむ	故郷下町 水彩都市江東	都心部に近い	臨海地域の緑の少ない マンション群	若い人が増えている
亀戸天神 藤の花	江戸情緒	散歩コース	緑が少なくなっている	(料理) 調理室のある施設が少ない
お祭り	深川の歴史	親水公園	マンション増	マンション老朽化 居住者高齢化
区の縦の交通が不便	歴史がおもしろい (区)への	桜並木の見所が たくさんある	文教地区といえるか?	公園等の利用法 を考える
	文化施設が充実	都の(区にある) 木場公園の四季のよさ	地域ごとの目に 見えない境界線	海拔0メートルの イメージが残っている
	核(顔)となる産業がない	公園等が整備されて来た。		昔、0m地帯と言われていた 今は?

  

<input type="checkbox"/>	お勧めポイント・まちの自慢
<input type="checkbox"/>	困っていること・こうなったらいいな
<input type="checkbox"/>	その他こぼれ話・私の体験談

合意したキーワード(3~5)		理由
①	水彩都市	運河 いこい
②	下町情緒	神社 仏閣 お祭り - 人情味 なごみ
③	都心に近い	便利が良い
④	多いマンション少ない緑	とりわけ南部地域
⑤	①と②を生かした全国レベルの企画イベント施設(区民参加型)	
残しておきたい意見		ビッグな区のイメージの突き出し 人口、区民生き生き

# 課題シート1 江東区のイメージ～江東区を紹介しよう～

第2回産業・生活分科会  
グループ討議結果

## Cグループ

新しく江東区に引っ越して来た人が昔からのつきあいになじめない	川、緑が多い	東京湾の見える景色 若洲海浜公園	伝統ある下町	利便性
子供からおじいちゃんおばあちゃんまで交流出来る場があればいいな	水に囲まれている。	夢の島の緑	お祭りを中心とした人の輪 活気	東京～千葉の交通の便
子供たちが自由にのびのび遊べる場がもっとたくさん欲しい	水彩都市、水辺空間 運河、小名木川、親水公園	海に面した景観 (新木場)	古さと新しさがまじりあった 活気あるところ	お台場・豊洲は未来都市
町づくりの拠点として プレーパークがあればいいな...	川が多いよ	横十間川木道 サイクリング	お寺が多く見所が多い	町ぐるみのおつきあい
変革期	荒川が好き	サイクリングに良い (荒川、りんかい部)	江戸情緒	大規模な開発
13年前に比べ人が増加(新木場駅)	治安が悪い	緑道が好きです	お祭りが楽しい	歩道上の自転車
人口の増加率は日本で一番?!	犯罪が多いイメージ	マラソンコースとして走りやすい	名所、旧跡が多い	駐輪マナー
広いー物理的 ー年齢層 ー歴史	埋立地が多い	街歩きは楽しい	新木場地区の特徴が無い	自動車の混雑
江東区が広く全体がつかめない	夢の島近辺の風紀			小学低学年の時、砂町商店街に行ったことがある(下町)
すごく広い区である	工場跡地ほこりっぽい			
面積が増加中。				
公共交通の便利さ特にバス路線				
ちょっと交通が不便です				
海岸から奥への動線がない				

お勧めポイント・まちの自慢  
 困っていること・こうなったらいいな  
 その他こぼれ話・私の体験談

合意したキーワード(3~5)		理由
①	新旧(街 人)共存	下町の良さと新都市の共存
②	水と緑	川、海、緑が多く 散歩、サイクリング
③	広がり	面積、人の増加、交通不便
④	コミュニケーション	世代、新旧の人の交わりが少ない
⑤	治安	犯罪が多い
残しておきたい意見		

課題シート2 10年後の江東区を描く  
～10年後に紹介したい江東区とは?～

第2回産業・生活分科会  
グループ討議結果

Aグループ

治安がよく、心安らぐ町 (町内会を充実させる) 江戸しぐさを手本にして	治安が良く 安心安全な街	南北交通の整備充足	産業遺構をしっかりと 残して伝える	水の都市 車禁止の船だけ の街マンション
江戸の香りがして 活気があり、生きている 実感のある町 (商店の活性化) 江戸しぐさを手本	ケンカはボクシングと レスリングだけ うるおいのある街 勤め先も江東区に 呼び込むの	南北の交通が便利になった	オリンピックの中心地	
深川・城東地区と 豊洲・有明地区 が同じ意識で行動 できる方向性 (アイデンティティ)	世代の交わりと コミュニケーションの場 (公園、運河、海) が多い町です。	老人が楽しく暮らせる街 (俺80才になっちゃう) もちろん健康に、 病気になるまいよう	江東区が「深川」のブランド で商売できる体制	
うるさい子供の声 が一日中間こえるように 救急搬送のたらいまわし のない病院 子育てにやさしい手当 区長頼むよ	にぎわいのある街づくりで 老人と青少年が交流できる 場の設置	埋めた河川を一部掘起こす 江戸時代の通り 船が航行する	神社、寺町の街作り 近隣の整備 例 江戸の町再現	
病院が多い街 福祉施設	高齢者から赤ちゃんまで のんびり交流できる地域 であって欲しい。	無料バス 区内を一周 お店や観光スポットめぐり	観光文化財の案内 子供と老人が言える。 ひきこもりのない町にする	
	下町と新都市が共存し、 緑豊かな暮らしを 楽しむことの出来る 区です	街の特徴を区民が知り 広めあう街 (臨海エリアで江戸文化を 紹介する)		
	南北線交通の完成により 古き街と新都心の接合が 可能になっている			
	空がきれい 星もみえる			

合意したキーワード(3~5)		理由
①	歴史と未来都市の バランスが良い	街のアイデンティティを区民が共有 緑と花が多いまち 水彩都市
②	オリンピックの中心地	
③	南北交通が便利	
④	治安が良く心安らぐ街	
⑤	安心、安全な街	子育てしやすい街 高齢者介護の充実
残しておきたい意見		台場地区に低層の高齢者が住める インフラと住宅が広がる地域

課題シート2 10年後の江東区を描く  
～10年後に紹介したい江東区とは？～

第2回産業・生活分科会  
グループ討議結果

Bグループ (秋の七草グループ)

江東区の顔	マンション交流会 地域住民との 共生、地域力	学、職、住 大接近の江東区	建物と緑の バランスの良い町	住みたい所は 港区にしようか 江東区にしようか 迷う区
すばらしい 水彩都市	生活しやすい 楽しい	助け合いの精神 心豊かな町	公害が無くなりました。	人口比率が良い。
江東区の半分は 水と緑の公園 お年寄りと子供の コミュニティ	家族と一緒に 住める町	テレビばかり 見てないで 外にでよう	水がきれい 緑がきれい	公共施設をもっと 気軽に利用出来る
四季の植栽の豊かさ 川辺の風そして イベントに集う人々	下町情緒 + 近未来都市		水運を活用した 縦の交通	
現代の文人墨客なら 江東区へ出掛けよう	風情・人情ある都会		交通の便が 良いですよ	
区民一人一人が、 すばらしいと 誇りを持つ町 持てる町	下町情緒あふれる 人情の町			
世界中の人が 遊びに来る	人々のふれあい 交流がいっぱい			
	町と町を結ぶ			

合意したキーワード(3~5)		理由
①	水と緑がいっぱい	
②	世界に誇れる 下町情緒の街	
③	地域の連携、調和	垣根の無い連携 地域ネットワーク
④	公害の無い安心な街	大気、車の騒音が無い
⑤	学、職、住、公共サービス 大接近	お茶
残しておきたい意見		

課題シート2 10年後の江東区を描く  
～10年後に紹介したい江東区とは?～

第2回産業・生活分科会  
グループ討議結果

Cグループ

世界的に無二な街(区)	新旧(世代 地区)の バランスのとれた 東京代表の区	夜一人歩き 出来る町です	レクリエーションの 先進地(埋立地)	子育てをサポートして くれる条例や施設が たくさんある
新しい街にも 歴史が芽生えている	地域色豊か 各地区別	明るい街並	自転車と舟による お江戸観光エコシティ	若い人にも年寄りにも 住みやすい街だよ
下町の伝統継承	町の特徴があり 活気に溢れている	自然生かした 街づくり	古い町並と新しい町並が 美しくつながっている	シニアにもやさしく 町歩きできる
新しさの中に古い 伝統が残っている	10年後もまだまだ 進歩出来る 町でありたい	緑が更に豊か	昔ながらの人情	おじいちゃんおばあちゃん そして子供が交流出来る 拠点がある
防災が完璧	個人が大きな企業 に巻き込まれず 特徴を出し続ける	まるで公園のような サイクリングロードと 散歩コースがある	東洋のベニス (水と舟の観光地)	年齢層に合った 多くのコミュニティー
		公園があちこちに あるんだ	緑があふれ 子供達の遊ぶ 声が楽しく響く	住民個人が 輝いている街(区)
			水遊びがどこでも できるほど 川がきれい	面積は広くて、 人のつながりが 密な街
				子供がのびのび遊べる プレーパーク(冒険遊び場) が充実している (区が推進している)

合意したキーワード(3~5)		理由
①	豊かな人のつながり	
②	安心、安全な街並み	
③	東洋(京)のベニス	
④	下町の伝統の継承、創造	
⑤		
残しておきたい意見		



## 第2分科会の検討対象とするテーマ設定の考え方について

### 1. 第2分科会のグループ分けについて

\*第2分科会では、他分科会との関係や参加者の応募シート・前回の議論内容を踏まえ、「産業・消費生活」「コミュニティ」「文化」の3テーマについてグループを設置して検討を進めたいと考えています。

\*ただし、前回の議論で、多く意見が出された「観光」については、上記3テーマとは別にグループを設置するのか、3テーマのいずれかのテーマに統合するのか、皆様のご意見をうかがいたいと考えています。

(統合案1:「観光」と「文化」を統合する、統合案2:「観光」と「産業・消費生活」を統合する)

### ■第2分科会の検討対象テーマ(「★」は前回会議のキーワード・残して置きたい意見、「\*」は理由、「・」は個別のポストイットからの抽出)

	産業・消費生活	コミュニティ	文化	観光
現在の江東区 の特徴・イメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>★都心に近い</li> <li>*便利が良い</li> <li>・下町生活密着ショッピング街</li> <li>★ビッグな区のイメージの突き出し</li> <li>・核(顔)となる産業がない</li> <li>・日本経済の縁の下の力持ち企業が多数存在</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★新旧(街・人)共存</li> <li>*下町の良さや新都市の共存</li> <li>★コミュニケーション</li> <li>*世代、新旧の人の交わりが少ない</li> <li>・新しく江東区に引っ越してきた人が昔からの付き合いになじめない</li> <li>・新しい人が入ってきているが、昔からのものや人も大切にしたい</li> <li>・子供からおじいちゃんおばあちゃんまで交流できる場があればいい</li> <li>・地域ごとにコミュニティが分断されている</li> <li>・町ぐるみのお付き合い</li> <li>★区民生き生き</li> <li>・お祭りを中心とした人の輪・活気</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★下町情緒</li> <li>*神社、仏閣、お祭り、人情味、なごみ</li> <li>・江戸時代における名所・旧跡が数多く、浮世絵等になっている</li> <li>・船と川の歴史と文化財の宝庫</li> <li>・町は生きているということを実感させたい(江戸しぐさ)</li> <li>★過去と未来が共存した街</li> <li>*歴史のある街(下町風)新しい街(未来都市風)が混在</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★過去と未来が共存した街</li> <li>・学ぶ・歩く・味わう素材が多くある</li> <li>・江東区の人々が誇りを持つ伝統を知り、それを江東区以外の人にも強く関心を持ってもらう</li> <li>★水彩都市と下町情緒を生かした全国レベルの企画イベント施設(区民参加型)</li> <li>・観光遊覧船、水辺のプロムナードなど</li> <li>・荒川河口に本当の富士山が見えるお富士さんを造り、一大観光施設にする</li> </ul>

	産業・消費生活	コミュニティ	文化	観光
10年後のあってほしい江東区の姿(将来像)	<ul style="list-style-type: none"> <li>★学、職、住、公共サービス大接近</li> <li>★オリンピックの中心地</li> <li>・産業遺構をしっかりと残して伝える</li> <li>・個人が大きな企業に巻き込まれず特徴を出し続ける</li> <li>・「深川」のブランドで商売できる体制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★地域の連携、調和</li> <li>・垣根の無い連携</li> <li>・地域ネットワーク</li> <li>・マンション交流会、地域住民との共生、地域力</li> <li>・町と町を結ぶ</li> <li>★豊かな人のつながり</li> <li>・世代の交わりとコミュニケーションの場(公園、運河、海)が多い町</li> <li>・老人と青年が交流できる場の設置</li> <li>・高齢者から赤ちゃんまでのんびり交流できる地域</li> <li>・街のアイデンティティを区民が共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★歴史と未来都市のバランスが良い</li> <li>・下町情緒+近未来都市</li> <li>・風情・人情ある都会</li> <li>・新しい街にも歴史が芽生えている</li> <li>★世界に誇れる下町情緒の街</li> <li>★下町の伝統の継承、創造</li> <li>・街の特徴を区民が知り広めあう街(臨海エリアで江戸文化を紹介する)</li> <li>・「深川」のブランドで商売できる体制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*世界に誇れる下町情緒の街</li> <li>・「深川」のブランドで商売できる体制</li> <li>・観光文化財の案内を子供と老人が言える</li> <li>・世界中の人が遊びに来る</li> <li>★東洋(京)のベニス(水と舟の観光地)</li> </ul>
将来像の実現に向けた課題	■(産業の活性化) /等	■世代間、新旧住民、地域間の交流推進 /等	■下町文化と新しい文化の新旧の調和 /等	■(観光振興) /等
共通キーワード	(新旧の) 共存			

## 2. 他分科会の検討内容について

\*第4分科会（まちづくり・環境）の第2回会議では、検討対象を、「水辺」「防災」「交通」の3テーマに絞り、「環境」については、これら3テーマの提案すべてにおいて、最後に確認（配慮）することが合意されました。

\*このため、これらのテーマについては、詳細な検討を第4分科会にお任せしたいと考えております。

\*また、子育てや高齢者介護・独居老人に関するテーマについても、それぞれ第1分科会（子育て・教育）、第3分科会（健康・福祉）に詳細な検討をお任せしたいと考えております。

\*なお、いずれも第2分科会では直接的な検討テーマとしては掲げないという趣旨であり、「産業・消費生活」「コミュニティ」「文化」（「観光」という検討テーマの中で、議論の対象としていただくことは問題ございません。

### ■第4分科会に詳細検討を譲る検討テーマ

- ・水辺関係：水彩都市、水と緑
- ・防災関係：防災、防犯（治安の維持）
- ・交通関係：南北交通の分断
- ・環境関係：水と緑、公害問題（騒音・大気汚染等）

江東未来会議 第2分科会

第3回ワークショップ進行表

時間	項目	内容
19:00	開会	
19:00~19:10 (10分)	配布資料確認・事務連絡 今日のプログラム・今後の 進め方 次回日程調整	配布資料・前回の議事録の確認等事務連絡後、今日のプログラム、今後の進め方をコーディネーターから説明し、次回(第4回)日程を調整します。
19:10~19:25 (15分)	前回のおさらい グループ分け 共通するキーワードの抽出	前回のまとめからグループ分けの提案をコーディネーターが行い、第2分科会で取り組むテーマ(3~4)の決定。グループに分類しきれない、横軸となる共通のキーワードの整理を行います。
19:25~19:55 (30分)	ワークショップ① グループごとの課題の整理	グループに分かれ、前回のまとめ・付箋をベースに、テーマについて足りなかった視点や事項、課題を抽出し、グループの中の課題の分類・整理をします。
19:55~20:05 (10分)	休憩	
20:05~20:35 (30分)	ワークショップ② 課題解決に向けた方向性の 検討(基本的な方向性や施 策等のアイデア出し)	前半のワークショップで抽出した課題を解決するための基本的な方向性や、課題解決のために必要な施策や活動・事業、および想定される実施主体等のアイデアを抽出・整理します。
20:35~20:50 (15分)	ワークショップ①、②発表	各グループのディスカッションの結果を発表し、質疑応答を行います。(発表:1グループ5分程度)
20:50~21:00 (10分)	全体まとめ	全体をまとめた後、次回の進め方の確認をします。
21:00	閉会	

## 第2分科会スケジュール（予定）

3月の発表会に向けて、次のような進行スケジュールを想定しています。ただし、会議の進行状況等に応じて、参加者の皆さんと協議の上、進め方については柔軟に対応していきたいと考えております。

回	検討事項
第1回(9/26)	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ガイダンス</li> <li>★自己紹介</li> </ul>
第2回(10/17)	<ul style="list-style-type: none"> <li>★基本構想の位置づけ・他の計画との関係を知る</li> <li>★江東区の特徴とイメージの抽出・共有</li> <li>★10年後のありたい江東区を描く</li> </ul>
第3回(11/7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>★分科会で主に取り組むテーマの確認と選定(グループ分け)</li> <li>★テーマごとの課題の整理</li> <li>★課題解決に向けた方向性の検討(基本的な方向性や施策等のアイデア出し)</li> </ul>
第4回(11月下旬)	<ul style="list-style-type: none"> <li>★テーマごとの重点課題の選定</li> <li>★重点課題の解決に向けた検討(関係主体の役割分担や連携の方向性)</li> </ul>
第5回(12/19)	<ul style="list-style-type: none"> <li>★区の役割と必要な施策(新しいしくみ等)の提案</li> <li>★市(区)民・市民団体、事業者にできること、新しいアイデアの提案</li> </ul>
第6回(1月下旬)	<ul style="list-style-type: none"> <li>★最終的に提出する取りまとめのイメージの共有</li> <li>★グループ(選定したテーマ)ごとの提案の方向性・項目の検討</li> </ul>
第7回(2月下旬)	<ul style="list-style-type: none"> <li>★グループ(選定したテーマ)ごとの提言書のとりまとめ</li> <li>★第2分科会提言書とりまとめと最終確認</li> </ul>
(3月)	発表会

## スケジュールのお伺い（江東未来会議 第2分科会用）

お名前

お名前	
-----	--

以下の表に、ご都合の良い日に○、悪い日に×をご記入し、11月12日（月）までFAXにてお送りください。なお、回答内容は電子メール（様式自由）でお送りいただいても結構です。

時刻はいずれも 19:00～21:00 を予定しています。

### 第4回会議

11/27 (火)	11/28 (水)	11/29 (木)	11/30 (金)	12/3 (月)	12/4 (火)

### 【問合せ先】

江東区政策経営部企画課 古賀  
〒135-8383 江東区東陽4-11-28  
電話 3647-9111(内線2115)  
FAX 3699-8771  
eメール [kikaku@city.koto.tokyo.jp](mailto:kikaku@city.koto.tokyo.jp)